



島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年11月10日 第18号
校長 酒井元治

ふるさとの味、おふくろの味

何度かこの「値小だより」でも書きましたが、私は今回単身赴任で小値賀に来ています。もちろん毎日の自分の朝食と夕食を作っているわけです。まあ、単身赴任者としても、家族といっしょに赴任している職員にしても、昼食が給食になったということはありがたいことです。小値賀の給食は特に毎日が米飯給食というのはうれしい限りです。と言うのも、他の市町では、1週間に1~2回はパンとおかずというメニューがほとんど。小中学校合わせて150食を超える給食のパンを安定して供給できるルートがないこともあり、小値賀では毎日が米飯給食です。



さて、私の料理。食事を作るのは苦にならないのですが、毎日のメニューを考えるのがだんだん面倒になる。(これはご家庭でもいっしょかも。)ついでに、自分一人のために作る食事はもちろん無駄も出るし(無駄が出ないように食べ過ぎてしまうこともある)、第一おもしろくない。やはり、誰かのために作る食事、誰かと食べる食事の方が作る方だって「やりがいがある」ってものです。たとえ美味しくできてもテレビを相手に食べる食事は味気ないもの。今、お子さんの分も含め何食分もの食事を毎日ぶつぶつ言いながら作

っていらっしゃるお母さん方、今が幸せかもしれませんよ。夫婦二人になって、差し向かい食べる食事は味気ないかも…。(いや、そうじゃないかも。)

50も過ぎると唐揚げや焼き肉なんかより煮物がほしくなり、私は週に1回は煮物を作ります。ダシを取って厚揚げや練り物、こんにゃくと野菜をいっしょに煮た煮しめを作ったり、煮魚を作ったりします。こんにゃくの下ごしらえは、ドミノのコマみたいに長細く切り、真ん中に縦の切り込みを入れてひっくり返せばリボンみたいに見栄えがよくなる方法や包丁の柄でたたいて、指でちぎると味がしみやすくなることは祖母から習いました。妙にこんなことは忘れないものです。

しかし、こうやって作っても出せないのは「おふくろの味」。決して私の母が料理上手だったわけではありません。むしろ、子どもの頃は「うちの母ちゃん、料理下手だな。よその母ちゃんの料理はうまそう。」と思っていました。(今でも健在ですが、小値賀で

書いている学校だよりも母が目にすることはないでしょうから、言いたい放題です。) それでもこの煮物に関しては「おふくろの味」に追いつかない。

今、子どもたちが口にしている給食は「学校の味」。みなさんのご家庭にはどんな「おふくろの味」や「ばあちゃんの味」がありますか? 子どもたちが大きくなつて故郷を離れたとき思い出す味はどんな味なのでしょう? 子どもたちが文句を言って食べようが大人になつたら思い出す味かもしれませんよ。



これはある日の私の夕食。もちろん手作り。
味噌汁、煮しめ、キュウリとオクラのサラダ、
大根葉の一夜漬け & Beer

第34回少年の主張大会

毎年この時期に開催される「少年の主張大会」が下記の要領で行われます。応援よろしくお願ひします。

日時 11月12日(土) 午前9時~

場所 離島センター町民ホール

出場者(小学生)

5年 濱田 薫羅さん ~あったか言葉とちくちく言葉~

6年 近藤 花音さん ~大好きな小値賀島~

6年 濱田 結萌さん ~私の夢「心の支えとなる看護師へ」~



今年も出店します!

こちらも毎年恒例ですが20日(日)に開催される産業祭りに5年生と6年生が出店します。こちらも応援よろしくお願ひします。

5年	すってくろ米の販売	500g	150円
6年	おぢか	こども景観カレンダー	1部 300円



5年生の売り上げは、お世話になった方を呼んでの感謝会の費用に、6年生の売り上げは、卒業アルバムの費用の一部にさせていただきます。どうぞ、ご協力をお願いします。

今回の裏面は長崎新聞の記事でごまかしています。

こども景観カレンダー完成

11月4日 長崎新聞

島の魅力たっぷり



「小値賀島こども景観カレンダー」を作成した小値賀小6年生
一同校

町の事業で、古里の良木に囲まれた通学路、海岸などを裏休みを利用して印刷して町内の書店などで撮影した。人気は月々必ず残りのひと月課(電)0959・56・3は、担任の茂山康代教諭(主)。(山本陽一)

小値賀小6年が製作

北松小値賀町立小値賀(46)が撮影した海岸清掃小(酒井元治校長)と同の写真を用意。撮影者の大島分校の6年生11人写真のほか、「自慢の小値賀島こども景観カレンダー」がこのほど完成し、屋外休憩所から見える日常や美しい景観を切り取る。島の魅力を紹介しきれいで空気がおいしい。カレンダーを見て、い。

進学などで島を離れ、環境が

が、人前で自己アピールできるよになつてもうと酒井校長(53)が提案した。選手権に参加した特

加を希望する児童が申告した特

技を学校に掲示し、来校者が所望

で実施し、リクエストが多くつ

た上位3人の児童を表彰する。

現在は約20の個人やグループ

が登録。3年生の小辻太一郎君(8)は浪曲で、勇壮な剣舞を披露する。おへんこ(?)か

北松小値賀町立小値賀小(酒井元治校長、75人)で1日から児童が来校者に特技を披露する「どうどうリクエスト選手権」「どうどうリクエスト選手権」が始めた。児童は求めに応じ、一輪車やアカペラ、剣舞など見事な一芸を披露。学校を訪れる人たちをびっくりさせたり、楽しそうに練習している。

来校者に特技披露

福崎奈奈(9)は等間隔に置いたスケートボードを上げながら

「いつ通じて練習を積む。

感心する人も酒井校長は最

終的には全児童に参加してほ

い」と期待している。

「子どもがこんな

ことができるなんてもういい

「もっとスピードが出せねば

ならない」とリクエスト

にアドバイス

来年2月まで「人前で自己アピールを」



剣舞を披露する=小値賀小6年生



スケートボードを披露する=小値賀小6年生

(左)本陽

11月5日 長崎新聞